

ランドデザインの実現に向けて、民間活力を活かした宿泊機能や、飲食機能などを備えた集客施設等を整備しようと事業者公募に係る公募要項(案)を作成・公表していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済情勢の深刻化などから、公募の開始を延期

- 公募要項(案)の公表(R2.2)
- 事業者公募の開始を「当面2ヶ月」延期(R2.3)
【延期理由】新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済情勢の深刻化等
- 事業者公募の開始を「当分の間」延期(R2.5～)
【延期理由】新型コロナウイルス感染症の影響により、民間事業者の公募に向けた提案内容の検討に支障が生じていること

(マニフェスト(R2.7)を踏まえて)
新型コロナウイルスの影響が続く中で、ランドデザインを踏まえ、本港区エリアにおいて地域が賑わう拠点を形成するためには、**民間活力を活かした施設整備だけではなく、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて、改めて検討**

- 「コンベンション・展示機能を備える施設に係る整備可能性調査」の実施【調査結果の公表(R4.2)】
⇒現時点では、**スポーツ・コンベンションセンターの機能を最大限活用することが最善**

スポーツ利用に加え、コンサート・イベント、コンベンション、展示会などに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館を本港区エリアに整備すべしとの検討委員会の方向性については、公共関与による交流機能の整備検討という考え方にも合致している。

新たな総合体育館の名称は、検討委員会での意見や県民の皆様の御意見を踏まえ、令和4年3月の県の基本構想で「**スポーツ・コンベンションセンター**」となった。

参考

(1) 公募要項(案)の概要

公募対象	ドルフィンポート跡地及びウォーターフロントパーク
公募方法	公募型プロポーザル方式
必須とする施設	①ホテル ②集客施設 ③適正な規模の駐車場

(2) マニフェスト(アジア中核都市の実現)

ドルフィンポート跡地を活用し、天文館エリアや鹿児島中央駅エリアとの回遊性を確保しつつ、鹿児島市と連携して、国際会議などを開催できるコンベンション機能や展示機能を整備することを検討します。

(3) コンベンション・展示機能を備える施設に係る整備可能性調査

調査内容	①県内外の「コンベンション・展示機能を備える施設」の調査 ②コンベンション、展示会等の市場動向 ③本県に必要なコンベンション・展示機能を備える施設整備の条件整理 ④ドルフィンポート跡地等における施設整備の条件整理等
履行期間	令和3年6月22日～令和4年3月31日

新たな総合体育館

「新総合体育館需要予測調査」の結果

- 施設の利用割合は、メインアリーナで
スポーツ利用が概ね76%～87%、多目的利用が概ね13%～24%
- 施設の利用者数は、概ね28万人～41万人(メインアリーナ:概ね20～33万人)

新たな総合体育館の施設機能

スポーツ振興の拠点機能

多目的利用による交流拠点機能

第6回総合体育館基本構想検討委員会(R3.11)

整備候補地をドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして整備することが望ましい。

このような中、鹿児島港本港区エリア一帯の利活用については、**錦江湾を活かした観光振興、集客施設や文化施設の整備、緑地や水辺等の憩いの場としての活用**など、様々な御意見をお聞きしているところ

「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の設置

- 同エリア一帯の利活用について、**スポーツ・コンベンションセンターの基本構想や港湾としての機能を踏まえつつ**、県全体に経済効果を波及させていくという視点を念頭に置いて、同エリアを巡る様々な御意見もお聞きしながら検討
- 検討に当たっては、まずは、同エリアの現状・課題などを議論した上で、様々な御意見もお聞きしながら、**ランドデザインの開発コンセプトに基づき検討を進め、令和5年度末を目途に、利活用の全体像※の策定を目指す**

※ **全体像**とは？・・・**本港区エリアのどの場所にどういった機能を持たせるかというゾーニングを想定**